

1. 推進事業

事業費（要望額） 89,015,080円（うち交付金 40,679,000円）		都県名		福島県		
		事業実施年度		令和元年度		
現状と課題（※計画地区等における現状を踏まえて、課題を数値等も交えて具体的に記述すること。）						
<p>東日本大震災により、農業関係施設では199件、農地では5,991ha、その他多数の農業用機械等に被害が発生した。畜産分野においては、牧草の生産が減少しており、また、多くの家畜が淘汰されたことにより生産基盤が脆弱化している。さらに、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の飛散による生産者の健康への影響に対する不安も解消されていない。</p>						
課題を解決するため対応方針（※上記の課題に対応させて記述すること。）						
このため、被災前と同程度以上の営農活動ができるよう、安全・安心な自給飼料を生産するために必要な農業用機械の導入を支援する。						
都県における目標関係						
取組名	成果目標	事業実施後の状況				備考
		計画時	実施後	目標	達成率	
自給飼料生産・調製再編支援	飼料生産面積の拡大	原発事故に伴い牧草の利用が制限されている。	生産組織の収穫作業の高度化を図り、飼料生産面積を拡大した。	生産組織の収穫作業の高度化を図り、飼料生産面積を拡大する。	100.0%	達成（100%以上） 5地区 概ね達成（90%以上、100%未満） 1地区 未達（90%未満） 1地区 計 5地区
事業実施地区数		総合所見				
5地区		成果目標の達成状況は、100%以上であるため「達成」と評価する 今後も作付面積の維持、拡大のため、引き続き安定的な自給飼料生産を推進し、営農活動の回復を支援する。				

(注) 1 別紙様式 1 号に準じて作成すること。

2 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都県全体の総合所見を記入すること。

(別紙様式2号 別添)

都県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後(目標年度)		目標(令和2年度)		事業費(円)	負担区分(円)				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果(所見)
		被災前 22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容(計画)		交付金	都県費	市町村費	その他			
自給飼料生産・調製再編支援	株式会社フェリスラテ	牧草 0ha (参考:構成員5名の被災前経営面積 牧草70ha)	牧草 71.2ha (参考:令和3年度) 牧草 70.5ha	細断型ペールラップフィードコンベアトラクター 各1台	牧草 70ha	細断型ペールラップフィードコンベアトラクター 各1台	25,300,000	11,500,000	7,475,000	0	6,325,000	101.7%	作付面積は目標を達成したものの、地力が回復していないほ場もあり、自給飼料のみで育成牛全てを賄うことは難しい状況である。 そこで、経費削減のため親牛の残飼と自給飼料を混合したものを給餌できるよう、当該機械を導入した。機械導入により、裁断・飼料の混合・再成形・ラップかけ等の一連の作業を効率的に行うことができ、残餌の解消や飼料保存期間の向上、さらには飼料購入量の減少による経費削減と多大な効果があった。 今後も長期的な視点で地力の向上とほ場の整備を行い、自給飼料増産に取り組むたい。	作付面積は71.2haとなり、目標が達成された。今後も作付面積の維持、拡大のため、引き続き安定的な自給飼料生産を推進し、営農活動の回復を支援する。 令和2年度実績はH22年度と比べて増加しているため、実施要領に定められた採択要件は満たしている。
自給飼料生産・調製再編支援	大里東部自給飼料生産組合	稲わら85ha	稲わら90ha (参考:令和3年度) 稲わら 90ha	ミニホイールローダ1台、ペールグラブ 1台	稲わら 82ha	ミニホイールローダ1台、ペールグラブ 1台	5,054,400	2,340,000	1,521,000	0	1,193,400	109.8%	機械導入により、震災前以上に生産面積が拡大し、目標が達成された。今後も生産面積の維持・拡大のために、引き続き営農活動を行う。	稲わら収集面積は90haとなり、目標が達成された。今後も収集面積の維持、拡大のため、引き続き稲わらにおける放射性物質検査やカビ毒調査について実施・助言し、飼料の安全を確保することで営農活動の回復を支援する。 令和2年度実績はH22年度と比べて増加しているため、実施要領に定められた採択要件は満たしている。
自給飼料生産・調製再編支援事業入	株式会社阿部牧場	飼料作物30ha(飼料用トウモロコシ・ソルゴー)	飼料作物34.99ha(飼料用トウモロコシ・ソルゴー) (参考:令和3年度) 飼料作物35.45ha(飼料用トウモロコシ・ソルゴー)	汎用型微細断飼料収穫機 マルチヘッダアタッチ 自走ラップマシーン 各1台	飼料作物24ha(飼料用トウモロコシ・ソルゴー)	汎用型微細断飼料収穫機 マルチヘッダアタッチ 自走ラップマシーン 各1台	23,624,760	10,916,000	7,094,000	0	5,614,760	145.8%	作付面積は34.99haとなり、目標が達成された。今後も作付面積の維持・拡大に向け、引き続き作付ほ場の集積と作業効率化を図る。	作付面積は34.99haであり、目標が達成された。今後も作付面積の維持、拡大のため、引き続き農地集積及び作付面積拡大について指導・助言を行う。 令和2年度実績はH22年度と比べて増加しているため、実施要領に定められた採択要件は満たしている。
自給飼料生産・調製再編支援事業	佐藤牧場株式会社	飼料作物31ha(牧草・飼料用トウモロコシ)	飼料作物 29.59ha(牧草・飼料用トウモロコシ) (参考:令和3年度) 飼料作物33.8ha(牧草・飼料用トウモロコシ)	カッティングロールペーラー マニアスプレッダ コンビネーションペーラー 各1台	飼料作物29ha(牧草・飼料用トウモロコシ)	カッティングロールペーラー マニアスプレッダ コンビネーションペーラー 各1台	23,965,920	10,892,000	7,080,000	0	5,993,920	102.0%	飼料作物の作付面積は29.59haとなり、目標は達成された。引き続き目標達成率が維持できるよう農地集積をし、作付面積の拡大を図る。	飼料作物の作付面積は29.59haとなり、目標は達成された。県としても引き続き目標値が維持できるよう、圃場集積及び面積拡大について指導及び助言を行いながら、営農活動を支援する。 令和3年度実績はH22年度と比べて増加しているため、実施要領に定められた採択要件は満たしている。
自給飼料生産・調製再編支援事業入	株式会社SSKファーム	飼料作物24ha(牧草)	飼料作物 20ha(牧草) (参考:令和3年度) 飼料作物 24ha(牧草)	マニアスプレッダ 1台 カブリングローラー 1台 レーキ 1台	飼料作物20ha(牧草)	マニアスプレッダ 1台 カブリングローラー 1台 レーキ 1台	11,070,000	5,031,000	3,270,000	0	2,769,000	100.0%	飼料作物の作付面積は20haとなり、目標は達成された。県としても引き続き作付面積の維持・拡大を図って採択要件を満たせるよう、圃場集積及び面積拡大について指導及び助言を行うことにより営農活動を支援する。	飼料作物の作付面積は20haとなり、目標は達成された。県としても引き続き作付面積の維持・拡大を図って採択要件を満たせるよう、圃場集積及び面積拡大について指導及び助言を行うことにより営農活動を支援する。
-	-						89,015,080	40,679,000	26,440,000	0	21,896,080	-	-	-